

## アドバイス

## 資格を取得して実力を示そう

**電気電子工学科・電気電子情報工学科**では、電気物性や電気現象を把握・解析するために必要な基礎学力を養成し、実験・実習によって電気現象等を実地に会得し、更に各種分野の高度な応用技術を修得して、多くの分野で研究や実務を主導できる**21世紀の社会を担う電気・電子・情報技術者の育成**に力をいれています。

電気・電子・情報技術者が活躍する分野は、電気エネルギーの発生・伝送、光およびエレクトロニクス基礎と応用、情報処理および情報通信など幅広い分野にわたります。したがって、取得する資格もそれに関連して数多くありますが、今後就職活動や就職後に役立つ資格を一覧表にまとめました。資格を取得することは「**実力を認めてもらう**」ことであると同時に「**プロとして仕事のできる機会や幅を広くする**」ことにもつながります。したがって、**積極的に資格・検定に取り組むことを推奨**しています。資格を取得するには、関連する多くの科目を勉強している今が大変良い機会であり、同時に授業の内容をより深く理解することにもつながります。

次のことや表を参考にして、早い機会に**資格取得に是非チャレンジ**して下さい。

1. 資格には「取得することで、管理監督ができるようになる」もの（例えば電気主任技術者や電気通信主任技術者など）と「工事や操作ができるようになる」（例えば電気工事士や工事担任者A I・D D種など）資格とがあります。表に概要を記していますので、これを参考に先ず資格の概要を把握して下さい。
2. 試験日は、年度によって若干ずれる場合があります。願書受付は、それより2～3ヶ月以前になります。なお年に1回しか試験がない資格も多いので、事前に十分チェックのうえ計画することが必要です。
3. 同じ資格でも種別で難易度が異なります。まずは取り組み易い資格から挑戦して下さい。
4. **電気主任技術者（三種）と電気工事士（二種、一種）および電気工事施工管理技士試験**では、受験する皆さんを対象に**事前講座、あるいは学科、技能の補習授業を実施**しています。専門の先生の丁寧な指導が受けられ、また質問の機会もあるなど能率的な受験準備ができますので是非受講して下さい。
5. 各資格・検定に関する窓口の先生を表に記入しています。状況がわかりにくい場合は、直接相談して下さい。

資格の内容や試験内容についてもっと詳しく知りたい場合は、図書館3階の資格書コーナーに参考図書があります。活用して下さい。

おすすめ  
受験資格

在学中に受験可能な資格試験	電気主任技術者	電気工事士
	電気工事施工管理技士	電気通信主任技術者 (第一種伝送交換、第二種伝送交換、線路)
	工事担任者A I種(三種、二種、一種)	工事担任者D D種(三種、二種、一種)
	工事担任者A I・D D総合種	特殊無線技士(各級)
	陸上無線技術士	基本情報技術者
	応用情報技術者	I Tパスポート検定